
愛すべきは、私。

一色 美桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛すべきは、私。

【Nコード】

N8264P

【作者名】

一色 美桜

【あらすじ】

短編です。

テーマは、自己愛。

(前書き)

全部含めて、私。

深夜。

独りきりの、部屋。

ベッドの上に、私。

突然揺れる、視界。

フラッシュバック。

私の頭の中で、色々な感情が。

ぐちゃぐちゃと、混ざり合っている。

この頭の中を。

楽しい事や、嬉しい事だけの幸せな記憶で。

満たす事が出来たら、いいのに。

過去は、良いものばかりではなくて。

心が、深く沈んだ。

思い出させないで。

今更、私の中に入って来ないで。

私に、過去はいらない。

思い出す度に、前に進めなくなるから。

嫌で、邪魔で、鬱陶しくて。

苛立ちが、溢れ出す。

こんな感情を抱いている、自分に。

耐えられず、早く消えて欲しいと。

思い出す度に、願う。

忘れる事が、こんなにも、難しい。

どうして、私は。

過去に捕らわれ続けているのだろうか。

ああ。

過去も、現在も、未来も。

全部含めて私だから、こんなにも引きずるのか。

私を支配していいのも満たすのも、私自身。

嫌な記憶は、全部忘れてしまつて。

前だけをみて、生きて行けたら楽なのに。

それすら、出来ないのは。

私が、私自身を。

ずっと、愛していたから。

あの時の私がいたから、今の私が在る。

その事を忘れるなど、この記憶が言っている。

心が、覚えている。

全ての自分を、愛す事など、出来るのだろうか。

こんな、私が。

忘れられないなら、無理に忘れようとしなくても、いい。

これから先、どんな未来が待っているのかは、わからないけれど。

私は、このまま立ち止まって居たくは、ない。

涙に濡れようが、心が崩れ落ちようが。

全部含めて、私なのだから。

私は、全ての自分を受け入れて、生きて行こう。

叫べ。

私は、私を。

愛してる。

（後書き）

一色 美桜です。

今回は、自己愛がテーマでした。

私は時々、過去の自分を思い出して、心が沈む事がありまして。

色々考えてみたら。

結局、全て自分がやって来た事が原因で。

これからは、そんな自分も受け入れて行きたい、と思い立ちまして。

自分の心に向けて、書きました。

ずっと、ずっと。

私を。

愛し続けたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8264p/>

愛すべきは、私。

2011年1月3日22時31分発行